eBASE株式会社

2012年3月期決算と事業概要及び事業報告

当資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを
ご承知おきください。

2012年5月30日

会社概要

- 会社名：　eBASE株式会社　（証券コード：3835）
- 設　立：　2001年10月
- 資本金：　190百万円
- 本社所在地：大阪市北区豊崎5丁目4-9 商業第二ビル
- 理　念：

  貢献なくして利益なし、利益なくして継続なし、継続なくして貢献なし

  社会から求められ、賛同を得られるサービスでないと利益を得ることはできない。
  利益を上げないと、そのサービスを継続し成長させていくことはできない。
  結果的に、継続した成長を提供できるサービスでないと社会貢献ができない。
- 事業内容：コンテンツマネージメントソフト「eBASE」の企画開発・販売・保守
- グループ会社：

  eBASE-NeXT株式会社：「eBASE」のクラウドサービス・データプールサービスの運用

  eBASE-PLUS株式会社：「eBASE」の受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守・技術者派遣
- グループ総従業員数：　370名（378名/役職員含む）

（2012年3月現在）

２０１２年３月期決算
（2011年4月～2012年3月）

■連結売上高の推移

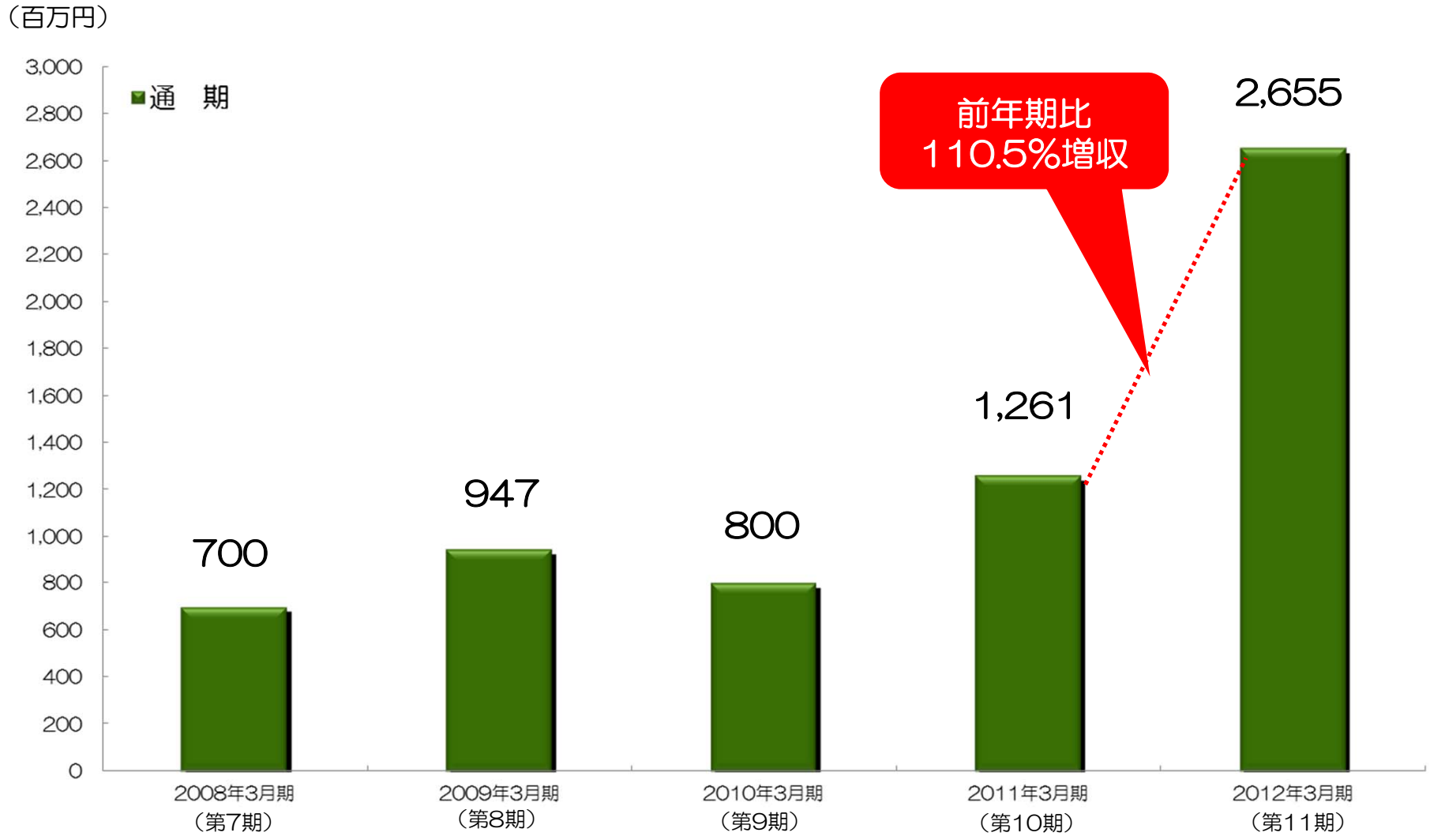
■連結経常利益の推移

■連結業績の推移

■連結貸借対照表

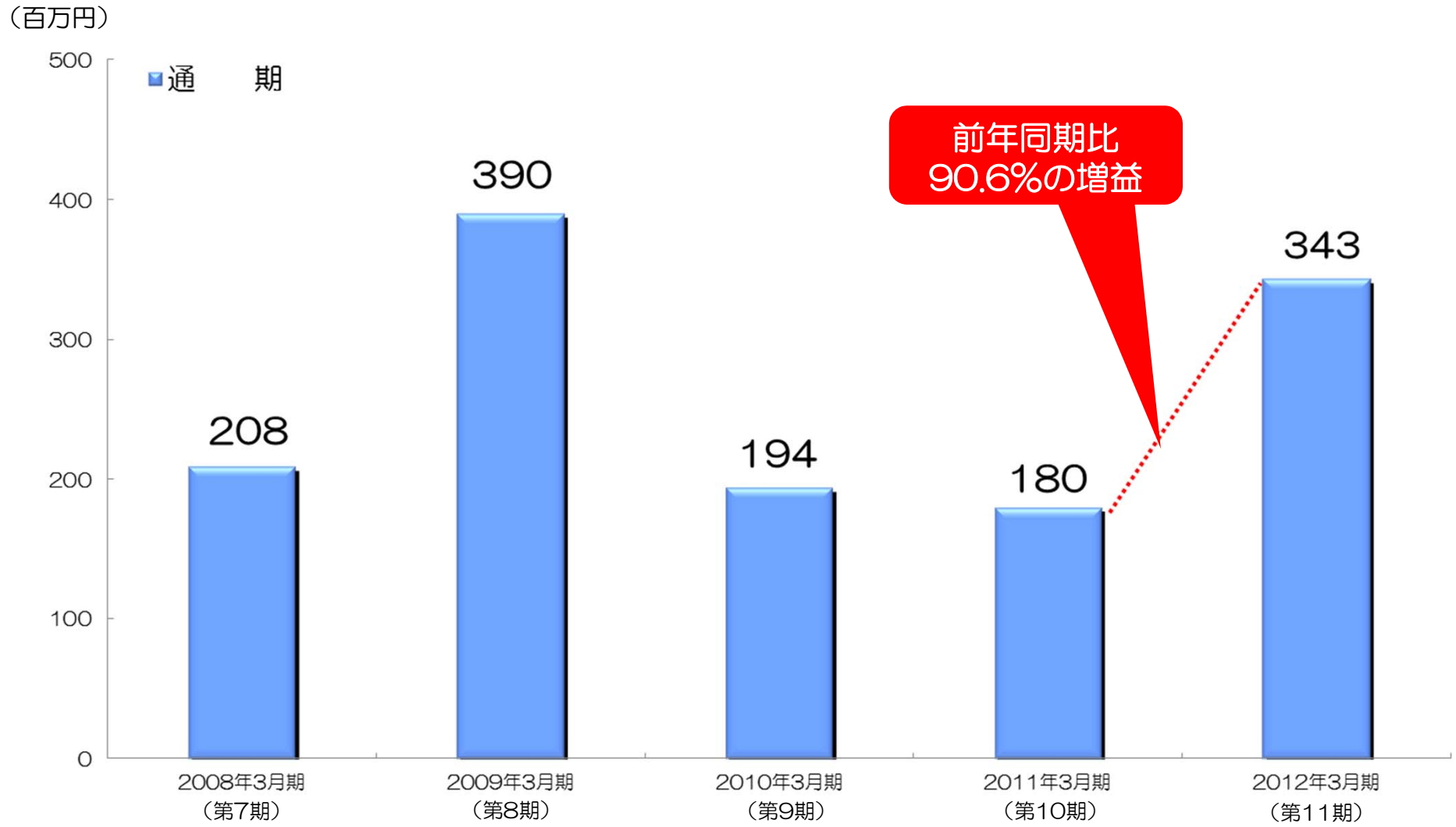
■事業別販売実績の推移

連結売上高の推移



（注）2011年3月期（第10期）第4四半期に連結子会社（eBASE-PLUS㈱）が事業譲受を行っております。

連結経常利益の推移



（注） 2011年3月期（第10期）第4四半期に連結子会社（eBASE-PLUS㈱）が事業譲受を行っております。

連結業績の推移

（単位：百万円）

	2008年3月期 （第7期）	2009年3月期 （第8期）	2010年3月期 （第9期）	2011年3月期 （第10期）	2012年3月期 （第11期）
売　上　高 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業)	700 (700) (-)	947 (947) (-)	800 (800) (-)	1,261 (782) (479)	2,655 (937) (1,718)
営業利益	206	387	192	174	315
経常利益 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (調整額)（注）	208 (208) (-)	390 (390) (-)	194 (194) (-)	180 (168) (11) (1)	343 (229) (114) (0)
当期純利益	118	219	125	109	203

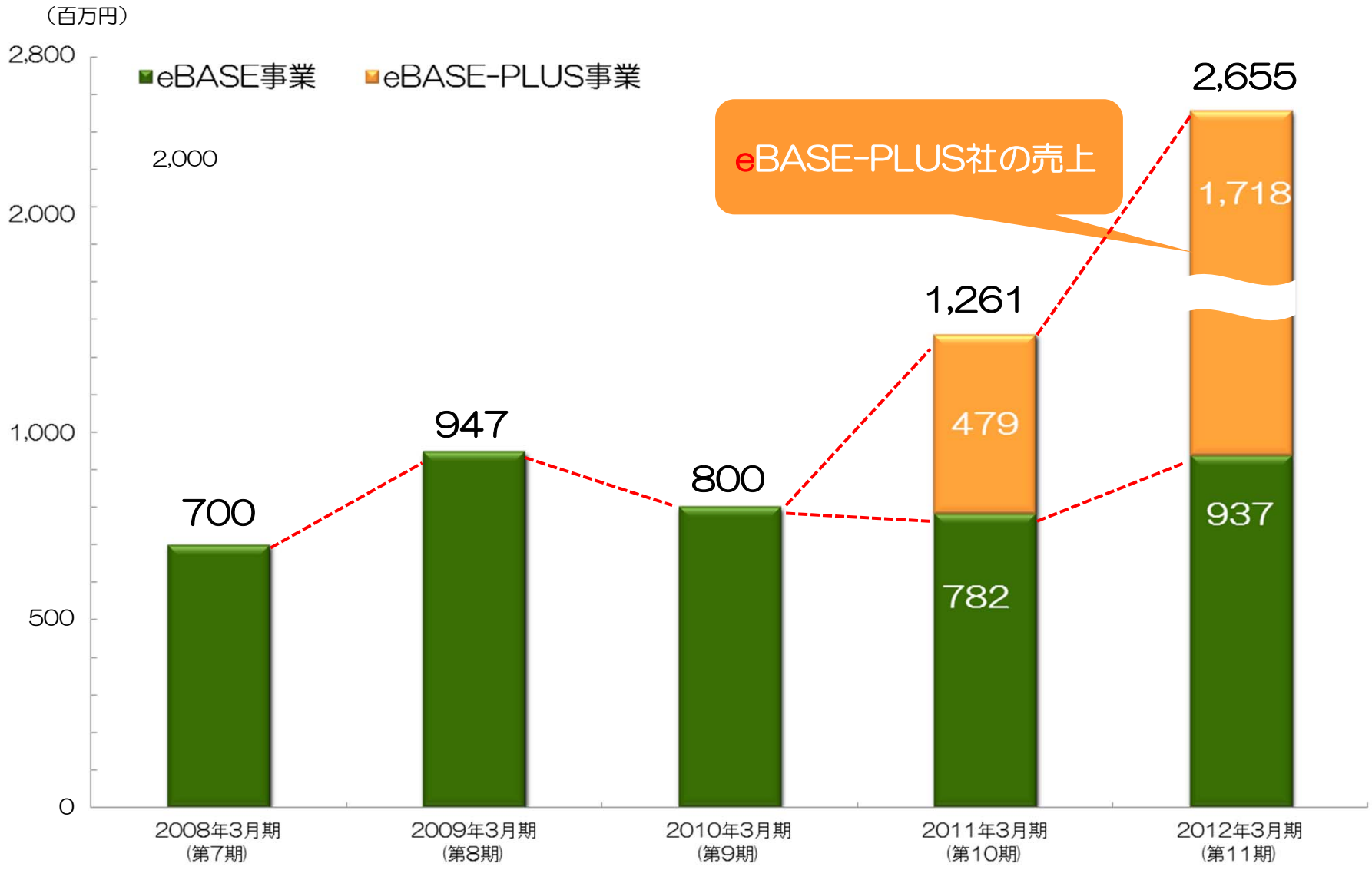
（注）経常利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前期 （2011年3月末）	当期 （2012年3月末）	前期比	
流動資産	911	1,235	324	現金及び預金＋272 受取手形及び売掛金＋42
固定資産	320	304	△16	
（有形+無形資産）	（86）	（69）	（ △17）	のれん△15
（その他）	（234）	（235）	（1）	
資産合計	1,231	1,539	308	
流動負債	152	290	138	未払金＋35　未払法人税等＋59 未払消費税＋16　預り金＋20
固定負債	1	1	―	
負債合計	153	291	138	
株主資本合計	1,074	1,242	168	利益剰余金+181 （配当金支払 △23） （当期純利益の計上＋203） 自己株式取得△12
新株予約権	―	2	2	
少数株主持分	4	4	―	
純資産合計	1,078	1,248	170	
負債・純資産合計	1,231	1,539	308	

事業別販売実績の推移


（百万円）
2,800
2,000
2,000
1,000
500
0
eBASE事業
eBASE-PLUS事業
eBASE-PLUS社の売上
700
947
800
1,261
479
782
2,655
1,718
937
2008年3月期
(第7期)
2009年3月期
(第8期)
2010年3月期
(第9期)
2011年3月期
(第10期)
2012年3月期
(第11期)

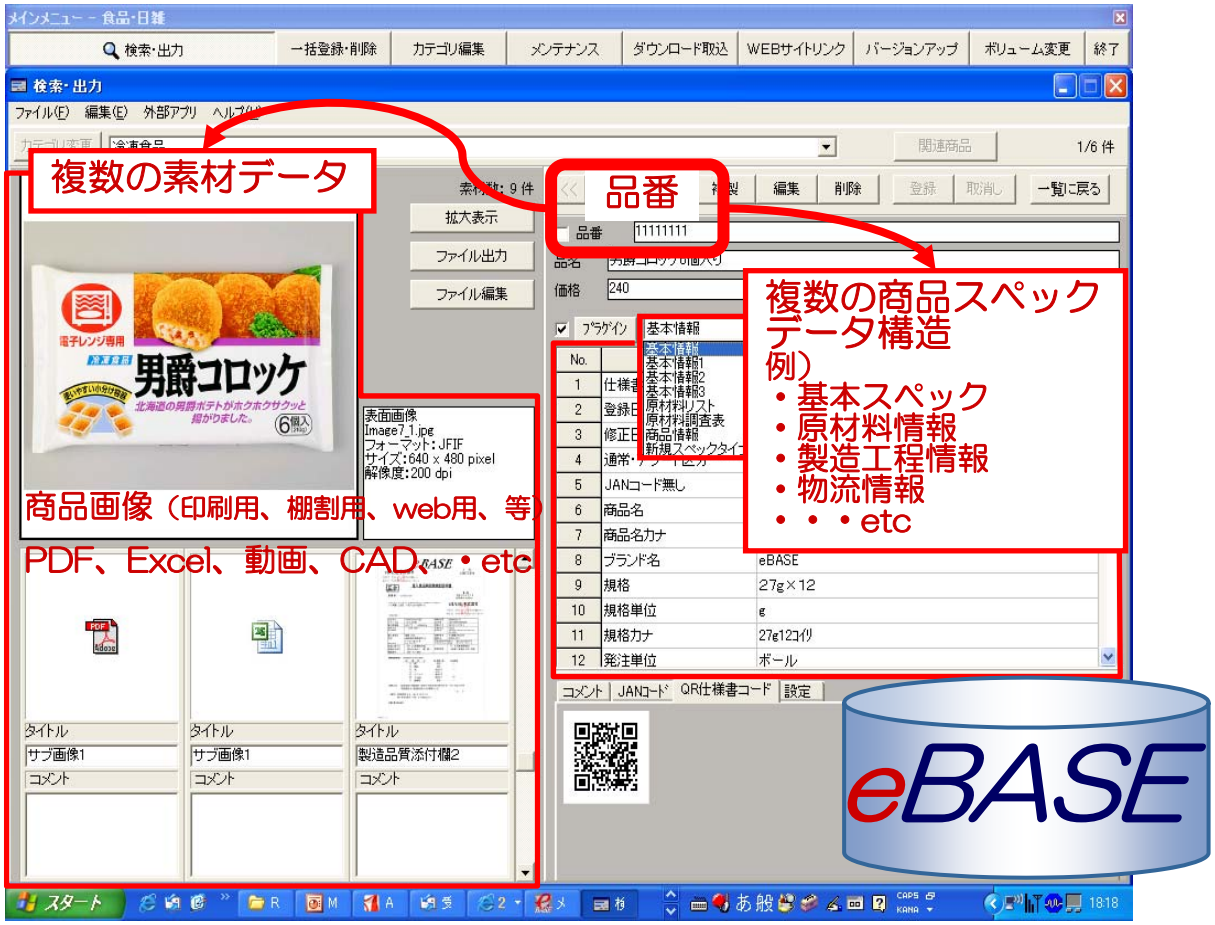
eBASE事業概要と事業報告

- eBASEの基本機能
- ミドルウエアeBASEの利用
- ミドルウエアeBASEを使ったソフトウェア事業
- eBASEコンテンツ管理システムの開発事例
- eBASE商品DBシステムのポジショニング
- 業界別商品DBパッケージソフト事業
- 種類別販売実績の推移
- 業界別販売実績の推移

eBASEの基本機能

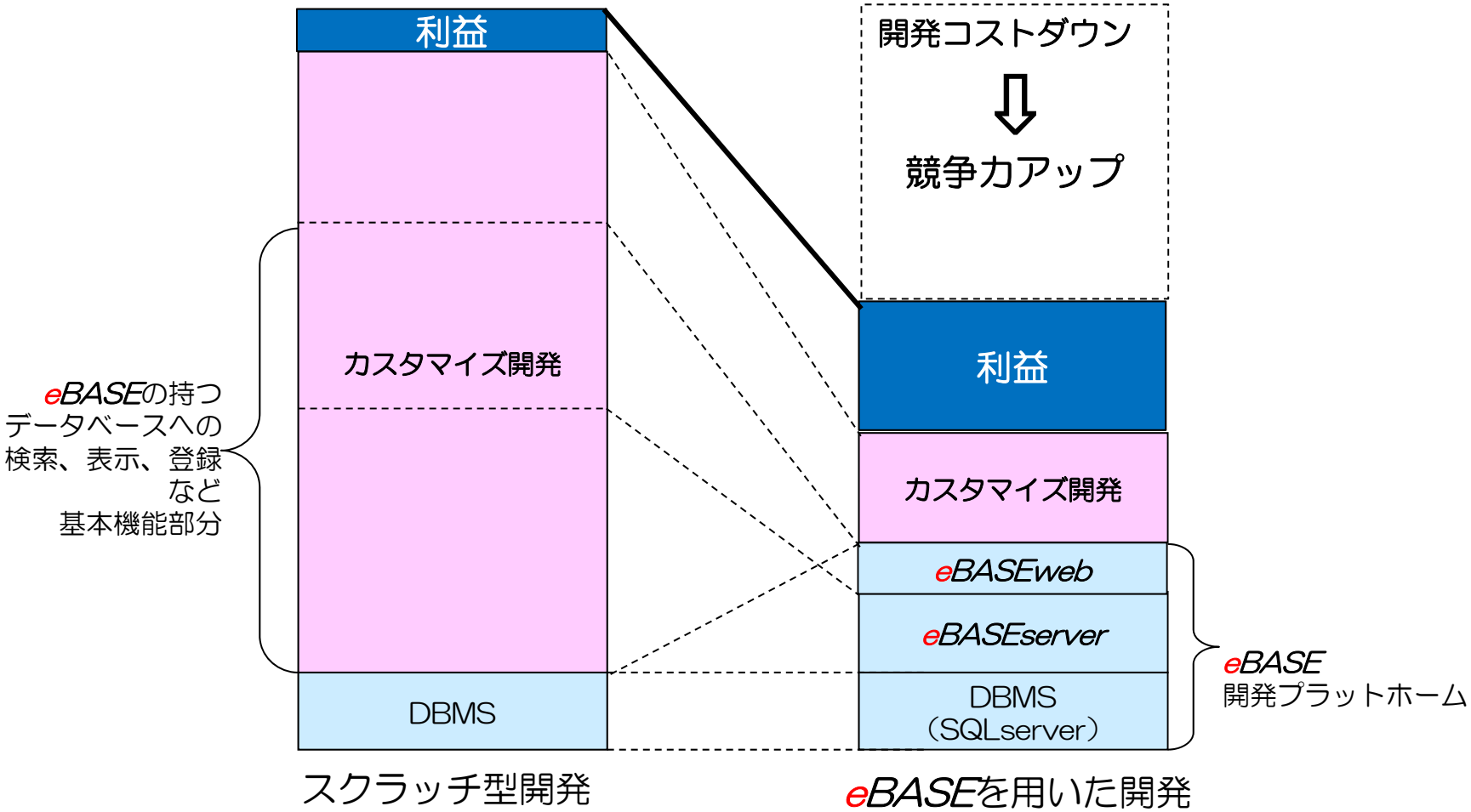
様々なコンテンツ管理システムを開発できるミドルウェアで、
商品情報管理、ドキュメント管理システム開発を容易にします。

・様々なコンテンツ管理！　　・フレキシブルなデータ構造！



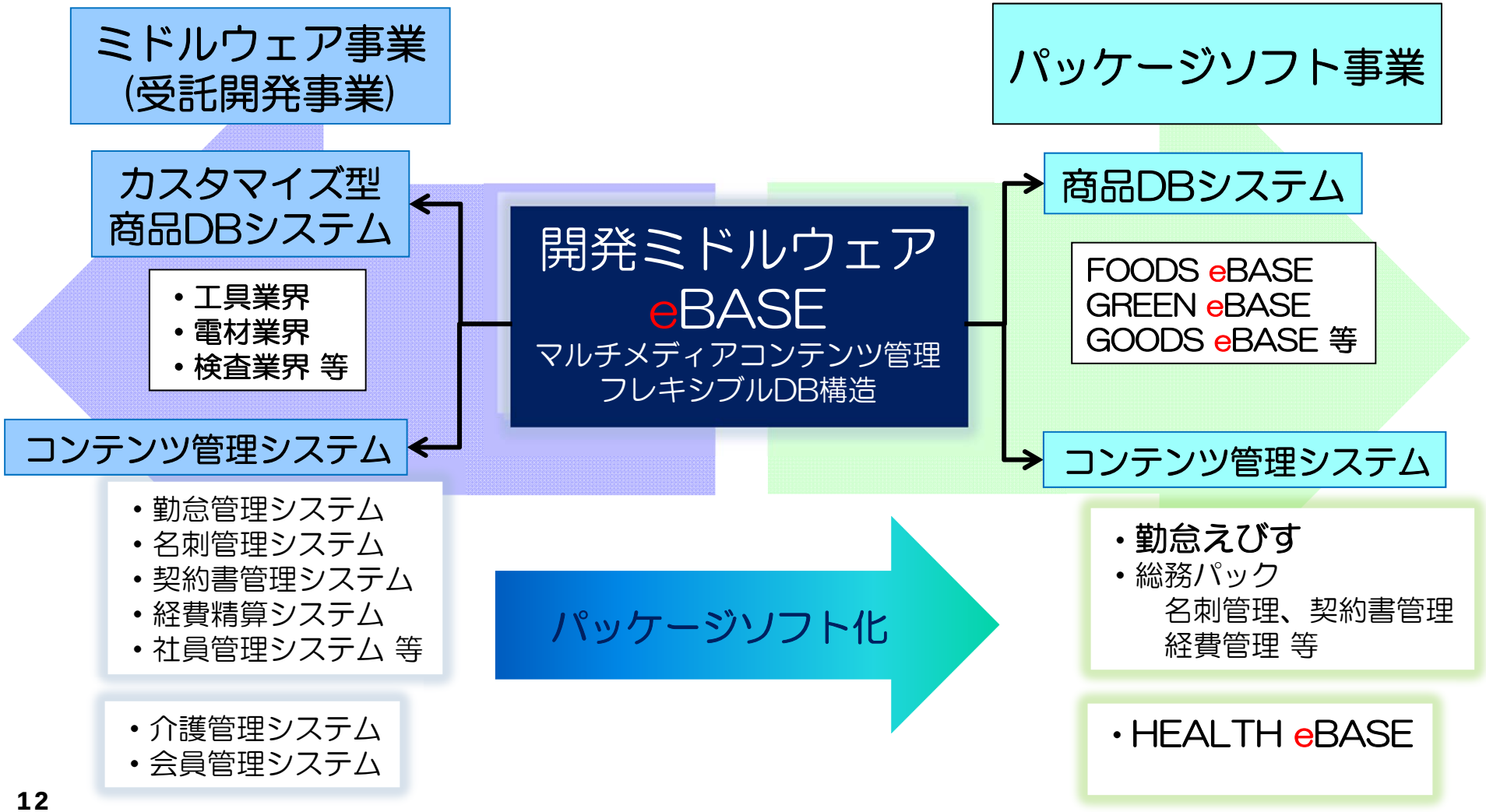
ミドルウェアeBASEの利用

様々なコンテンツマネージメントシステムを投資対効果高く、開発可能です。

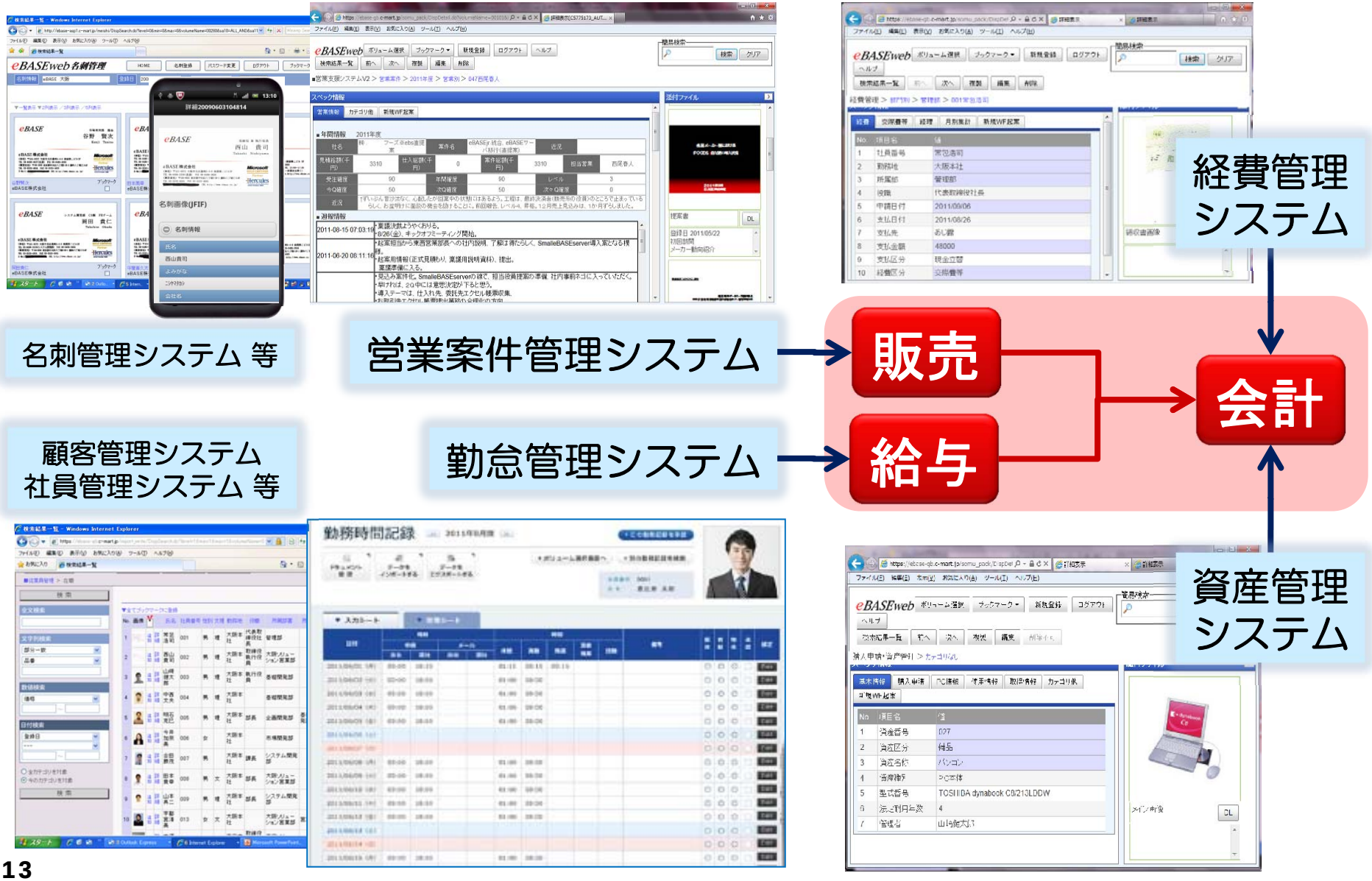


ミドルウェアeBASEを使ったソフトウェア事業

ミドルウェアeBASEを利用し、様々なCMSを受託開発。
企業CMS構築に於けるミドルウェアとして、顧客又はSierでeBASEを利用。
そこで得られたソフト資産、ノウハウを活用し、パッケージソフト化。

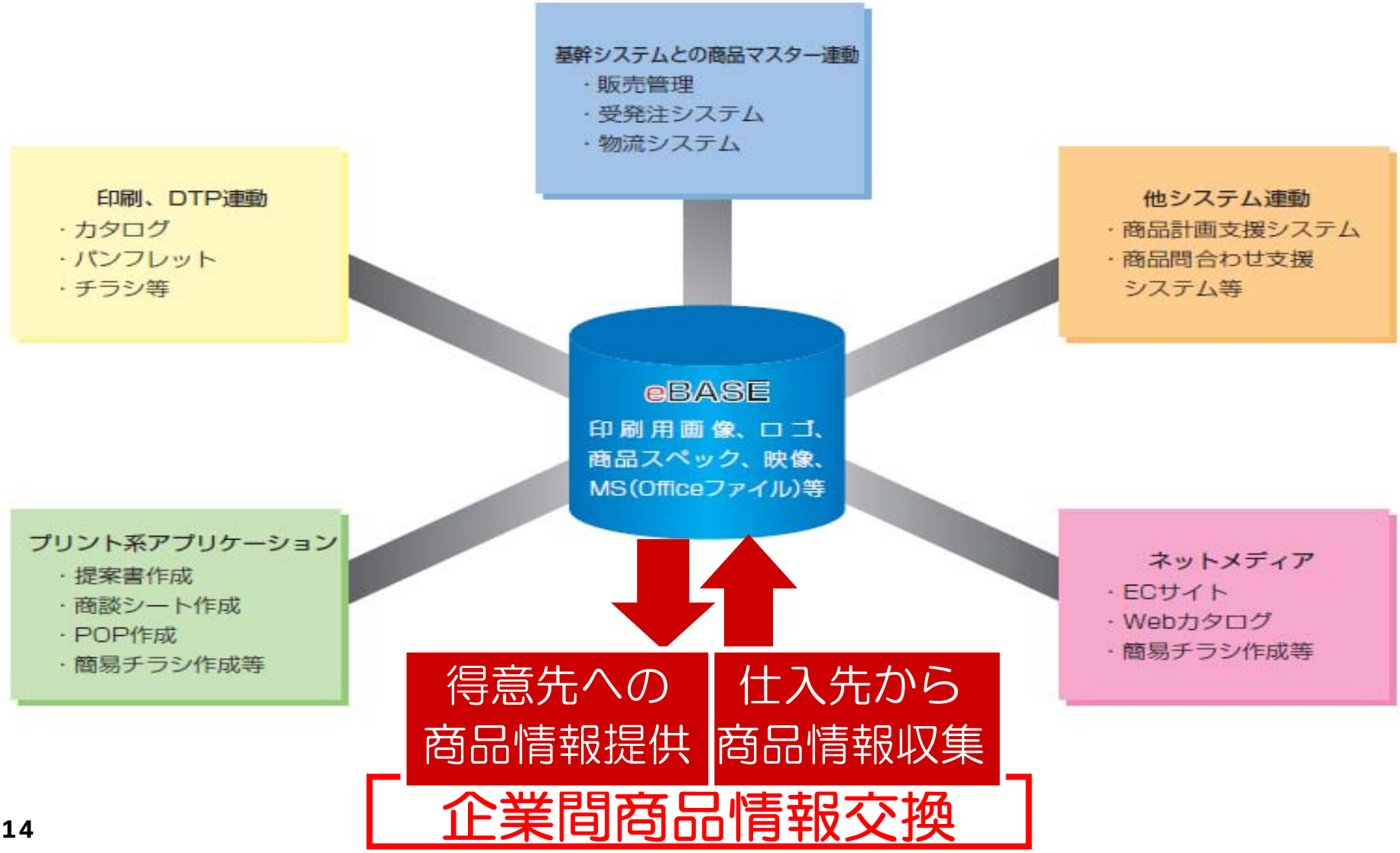


eBASEコンテンツ管理システムの開発事例



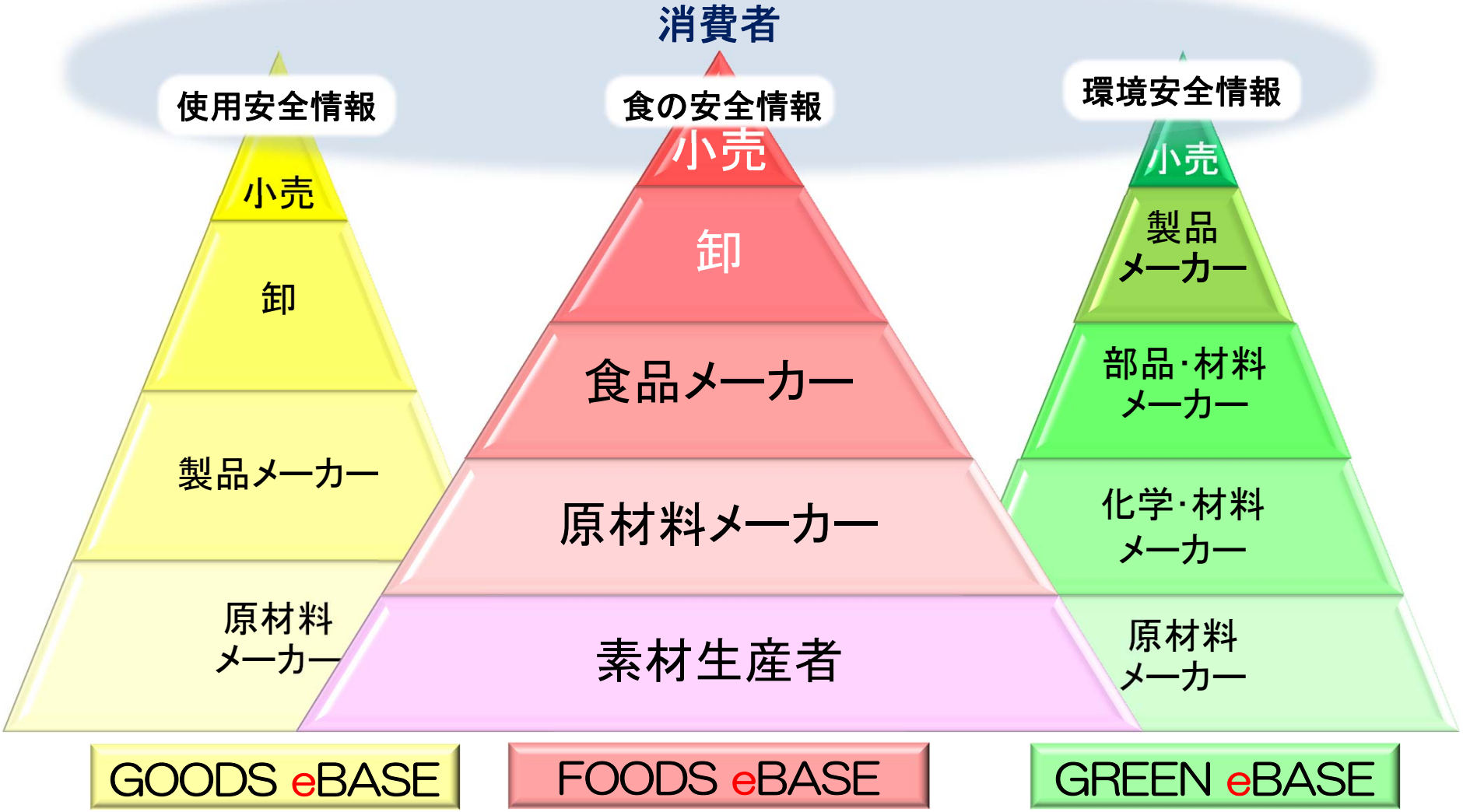
eBASE商品DBシステムのポジショニング

リッチ商品マスターを様々な他システムと連携運用！



業界別商品DBパッケージソフト事業

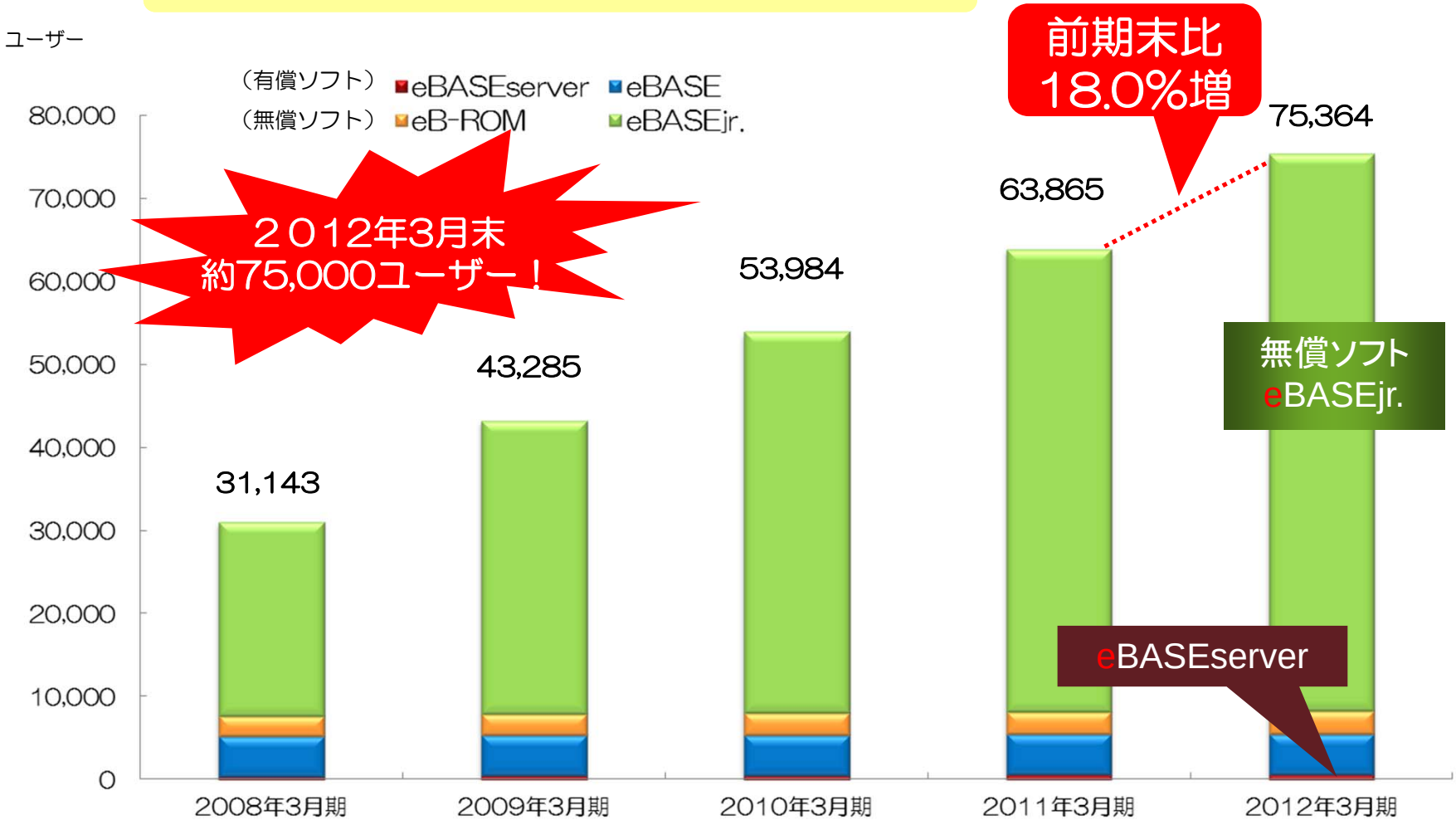
業界毎に商品情報交換の全体最適化！
ボランティアムモデルの推進！



製品ユーザー数の推移

商品情報交換の標準プラットホームとして着実に普及。

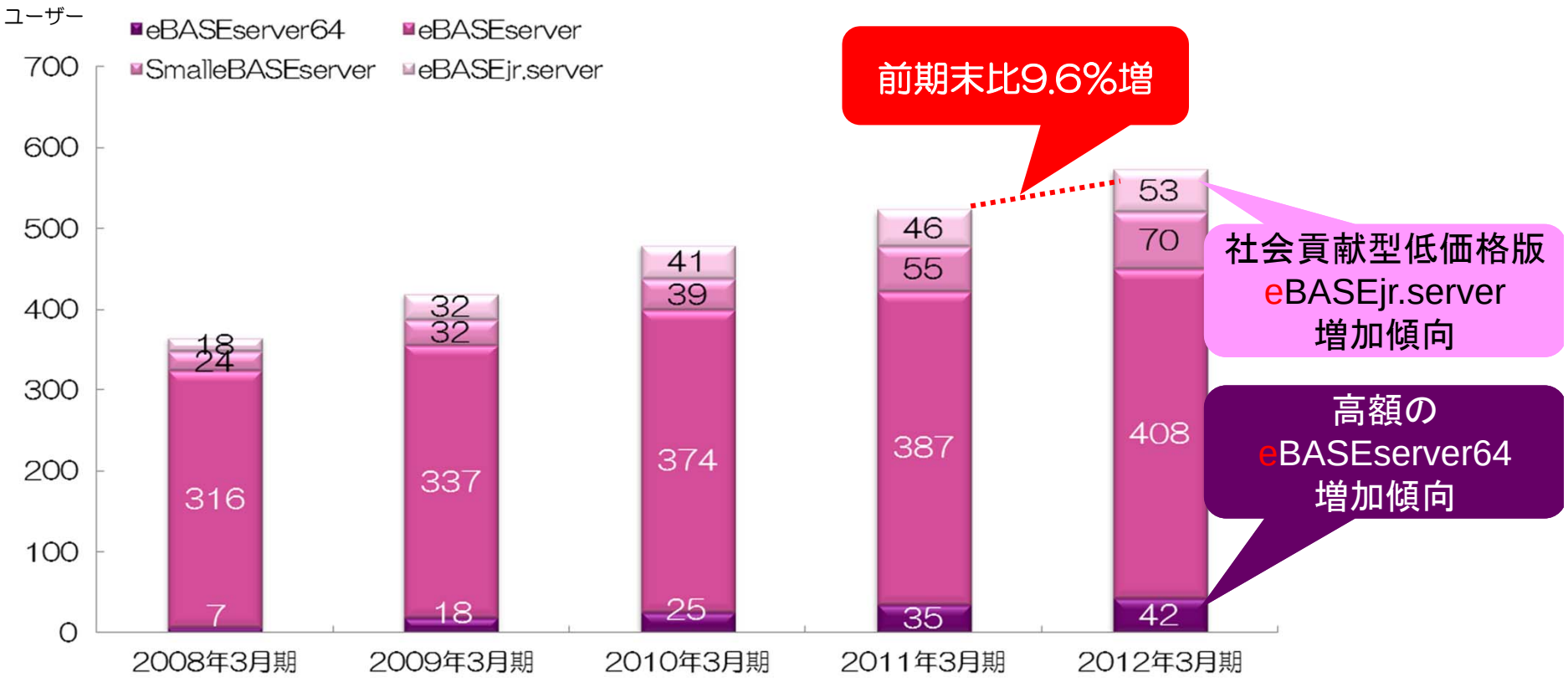
総ユーザー数（2012年3月末現在）



eBASEserverユーザーの推移

無償ソフトeBASEjr.ユーザーによる
最上位eBASEserverへの自発的グレードアップを促進！

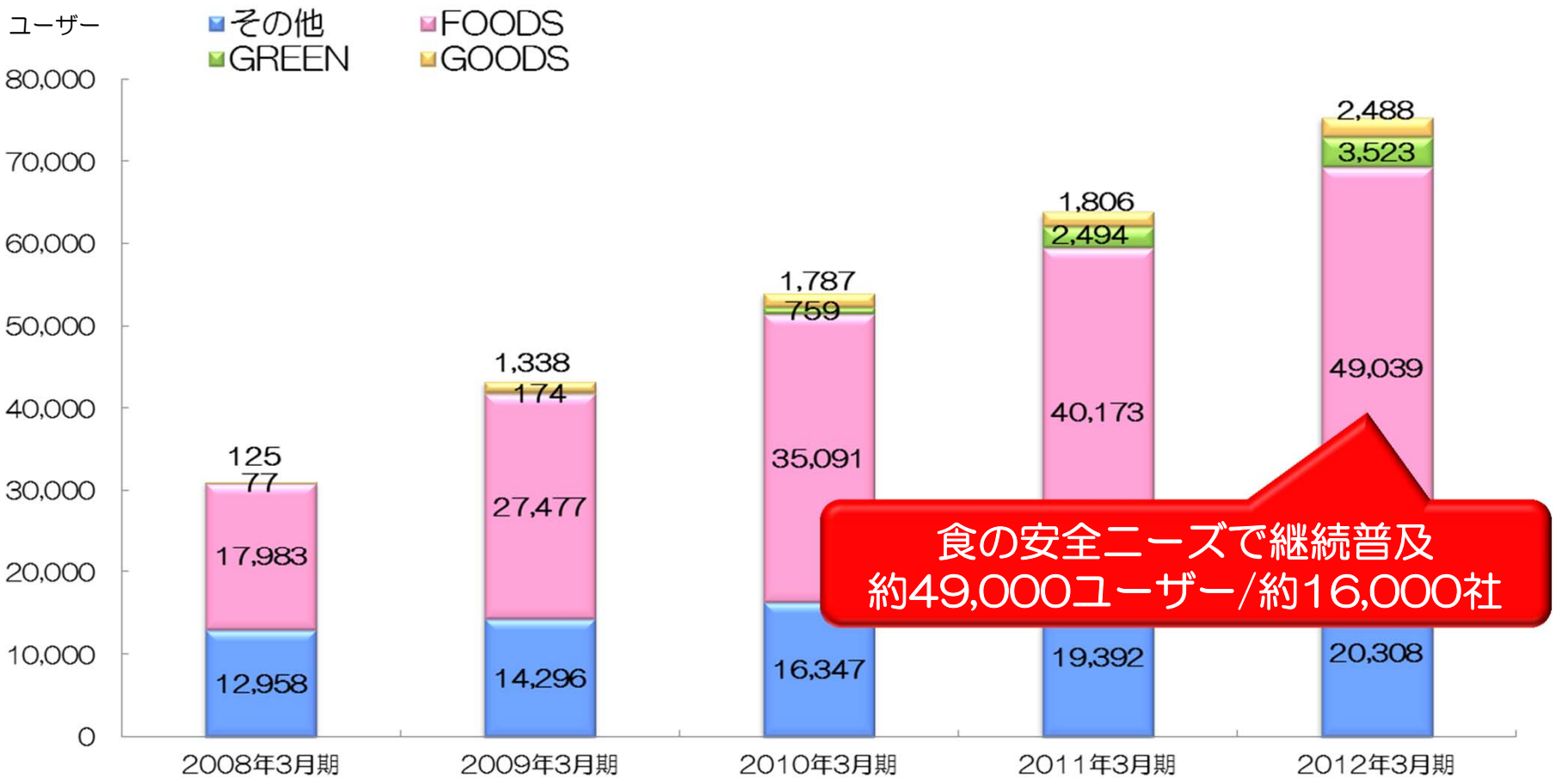
累計ユーザー数（2012年3月末現在）



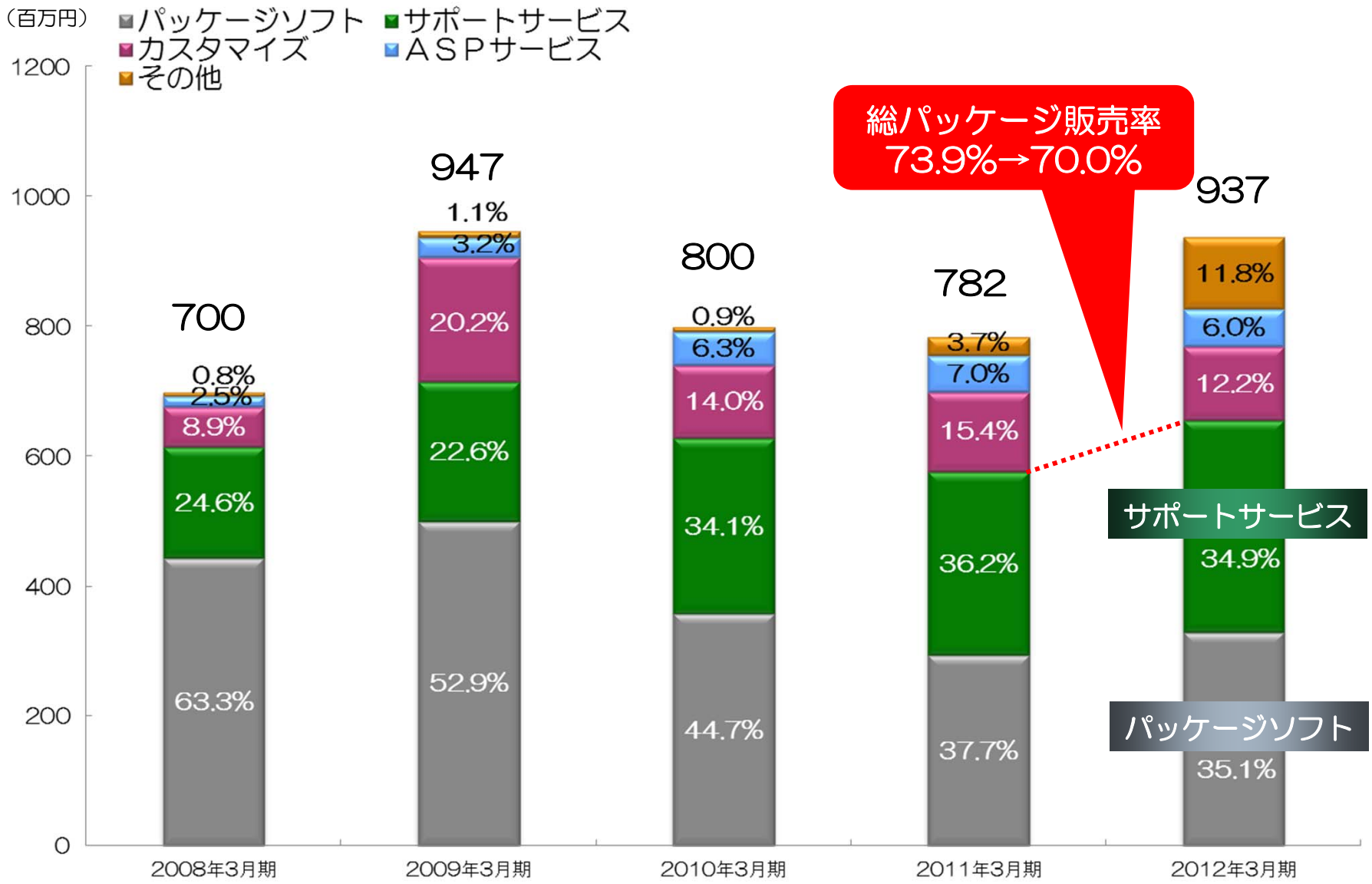
業界別ユーザー数

幅広い業界で商品情報交換の標準プラットホームとして普及。

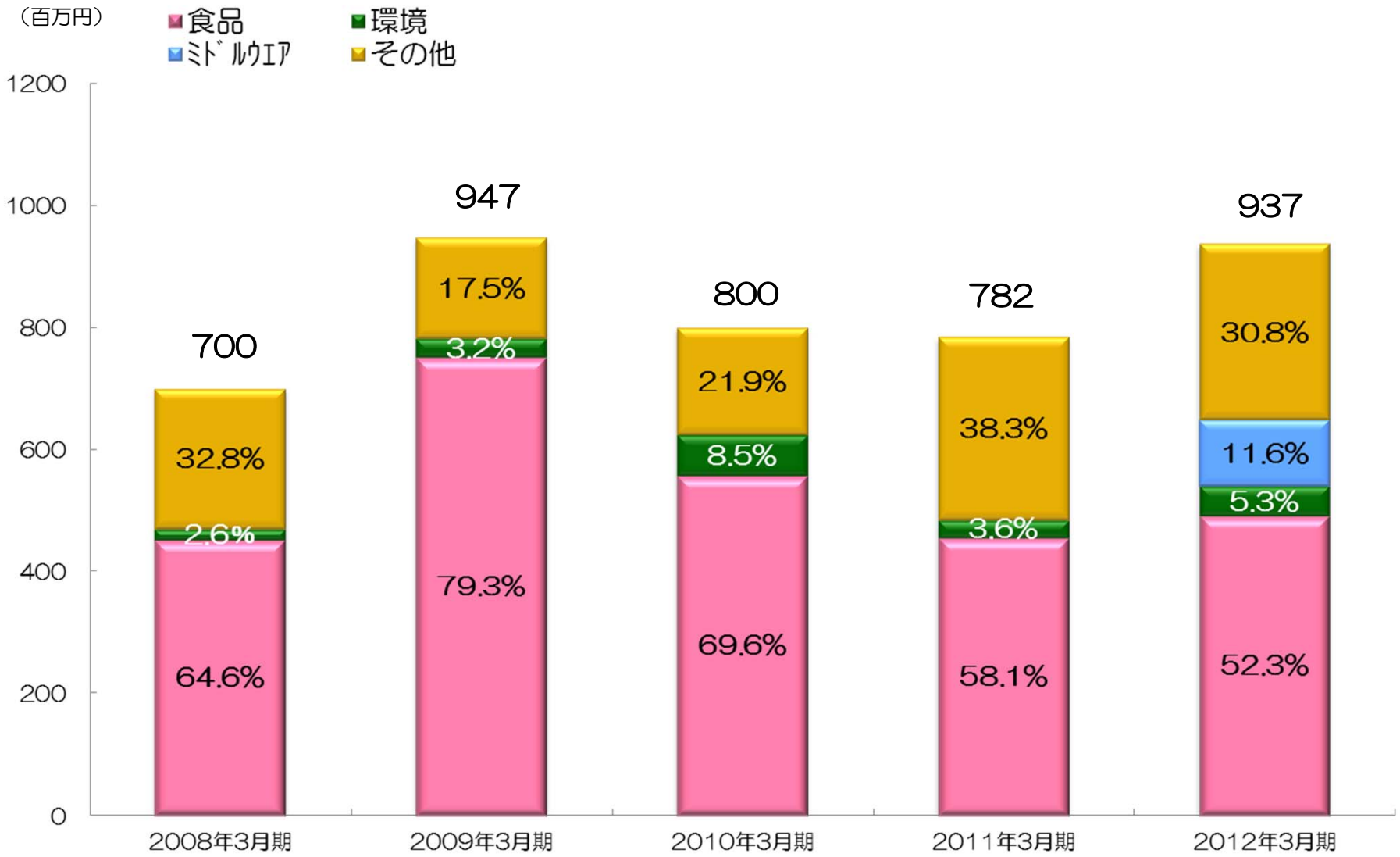
総ユーザー数（2012年3月末現在）



種類別販売実績の推移


（百万円）
パッケージソフト
サポートサービス
カスタマイズ
ＡＳＰサービス
その他
1200
1000
800
600
400
200
0
700
0.8%
2.5%
8.9%
24.6%
63.3%
947
1.1%
3.2%
20.2%
22.6%
52.9%
800
0.9%
6.3%
14.0%
34.1%
44.7%
782
3.7%
7.0%
15.4%
36.2%
37.7%
937
11.8%
6.0%
12.2%
34.9%
35.1%
総パッケージ販売率
73.9%→70.0%
サポートサービス
パッケージソフト
2008年3月期
2009年3月期
2010年3月期
2011年3月期
2012年3月期

業界別販売実績の推移


（百万円）
食品
環境
ﾐﾄﾞﾙｳｴｱ
その他
1200
1000
800
600
400
200
0
700
947
800
782
937
32.8%
2.6%
64.6%
17.5%
3.2%
79.3%
21.9%
8.5%
69.6%
38.3%
3.6%
58.1%
30.8%
11.6%
5.3%
52.3%
2008年3月期
2009年3月期
2010年3月期
2011年3月期
2012年3月期

今年度施策とその結果報告①

■FOODS eBASE ／ 現事業モデルの継続推進

- 有償ソフト拡販と既存ユーザーのクロスセル・アップセルで、概ね計画通り推移

■GREEN eBASE ／ REACH施行に伴い推進

- JAMPの「OR2IS(オーリス)」プロジェクトの進捗遅れで、計画未達
- 今後、「OR2IS(オーリス)」プロジェクト関連の拡販を推進

■eBASEミドルウェアビジネスの推進

- コンテンツマネージメントソフトの開発販売が概ね計画通り推移
- 会員管理、介護管理等の大型受託開発CMSの受注により、売上高が約1.1億円増加
- プログラミングレスの開発プラットホームeBASEとしての機能強化

今年度施策とその結果報告②

■クラウド＆ストックビジネスの推進

- 既存サポートビジネスは順調に推移（327百万　前年比＋15.6%）
- 新たなストックビジネスが立ち上がらず

■eBASE-PLUS事業/BPRと相乗効果創出

- eBASE社の介護管理受託開発案件受注に伴う開発受注が増加
- 前期より継続の経営合理化の業務効率向上策が功を奏し、計画を上回る増益

2013年3月期
eBASEビジネス展開計画

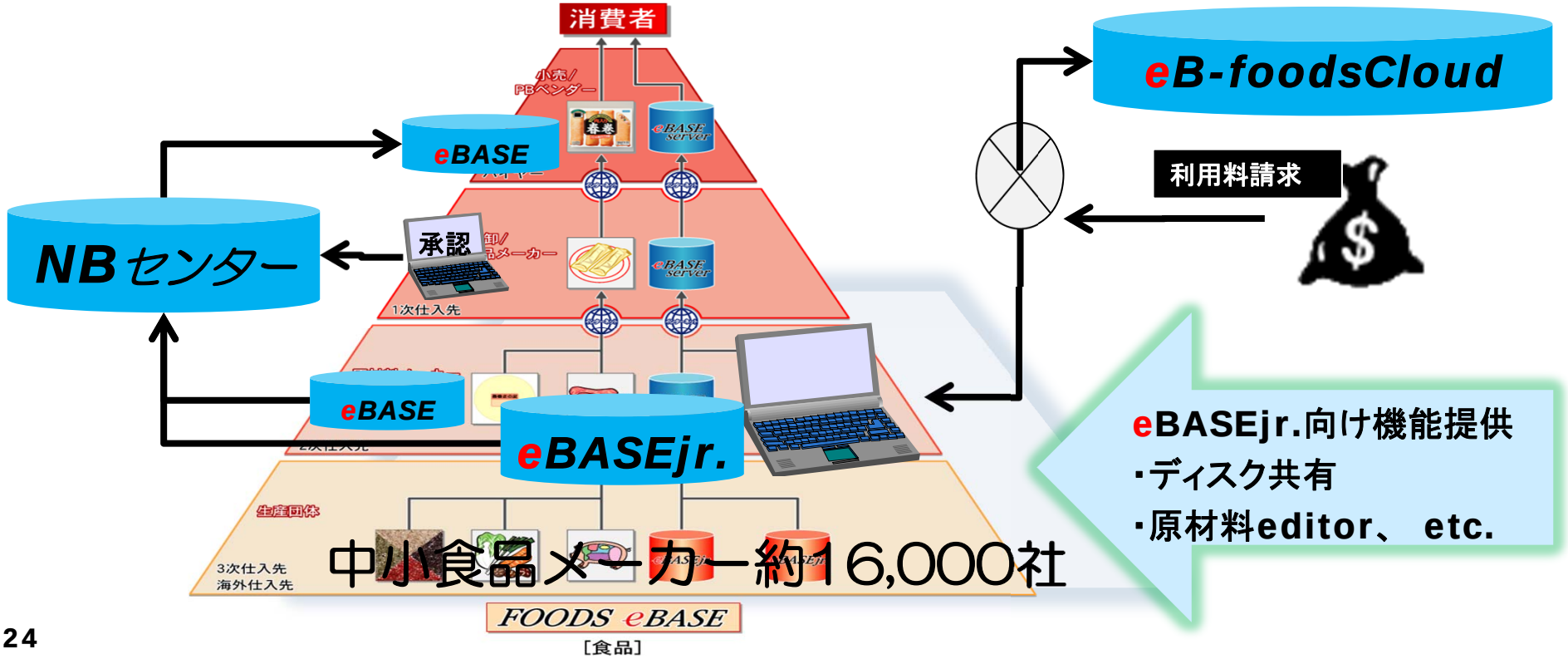
- FOODS eBASE ／ 公表売上内訳比率 16%
  - 現事業モデルの継続推進
  - クラウド＆ストックビジネスの推進
- GREEN eBASE ／ 公表売上内訳比率 3%
  - 「OR2ISプロジェクト」対応のGREEN eBASEの拡販を推進
- GOODS eBASE ／ 公表売上内訳比率 6%
  - 既存の業界別商品DBビジネスの継続推進
  - ミドルウエア eBASEを使ったカスタマイズ型商品DBの受注強化
- eBASEミドルウェアビジネス ／公表売上内訳比率 9%
  - 受託開発案件の受注促進
  - 開発プラットフォームeBASEの機能強化
- eBASEソリューションビジネス／ 公表売上内訳比率2%
  - eBASE関連ビジネスの人材確保
  - eBASEビジネスのPLUS社直受注

FOODS eBASE /eBASE事業

■ 現事業モデルの継続推進
- 食の安全情報交換の全体最適化を図りながら「FOODS eBASE」の拡販

■ 「NBセンター」の推進
- 小売企業が共同で製品情報収集、共同利用できるクラウドサービスの推進

■ 既存サポート事業に加え、新たなストックビジネス創出
- 無償eBASEjr.ユーザーが求める機能を、低価格で広く提供！



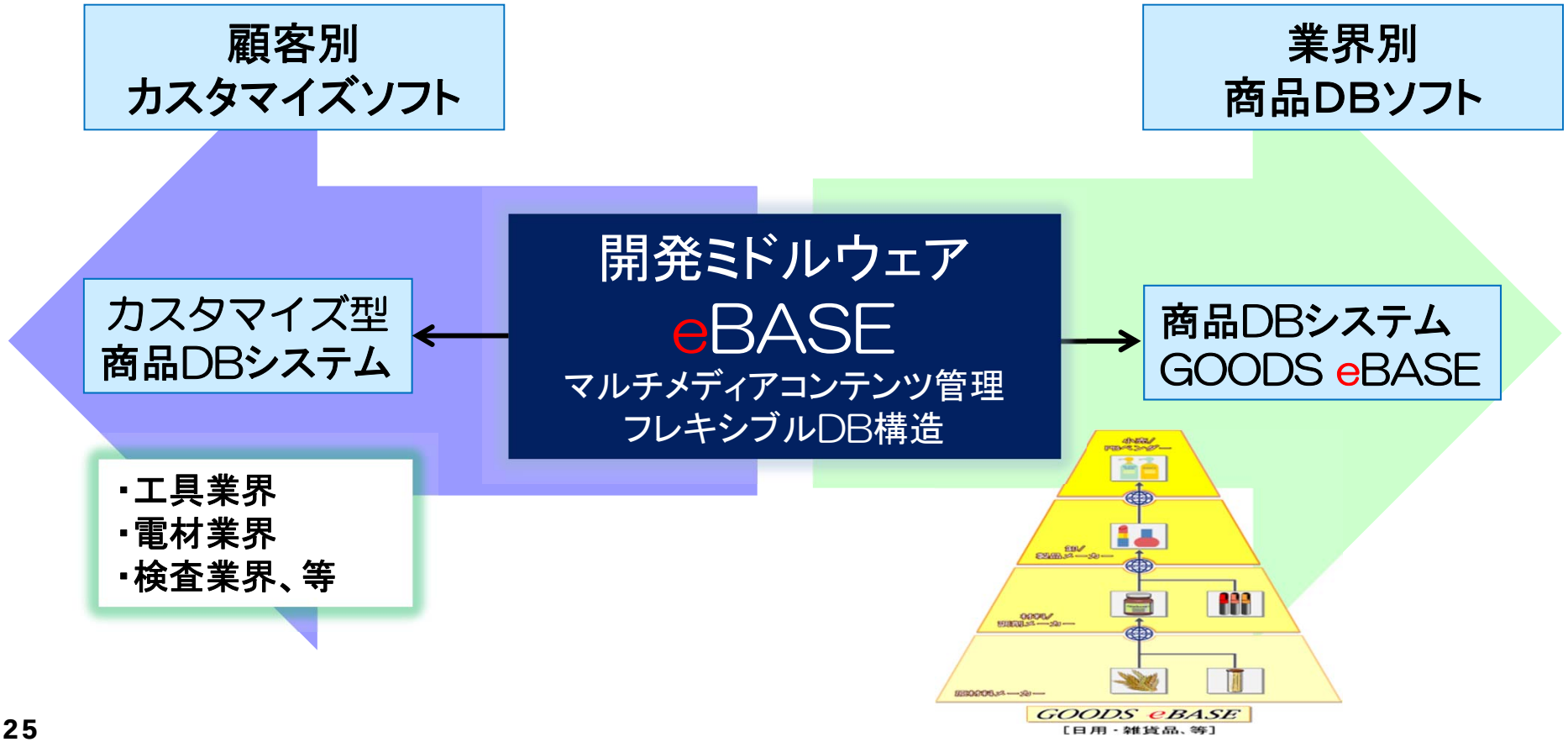
中小食品メーカー約16,000社

GOODS eBASE /eBASE事業

■ 既存の業界別商品DBビジネスの継続推進

■ ミドルウエア eBASEを使ったカスタマイズ型商品DBの受注強化

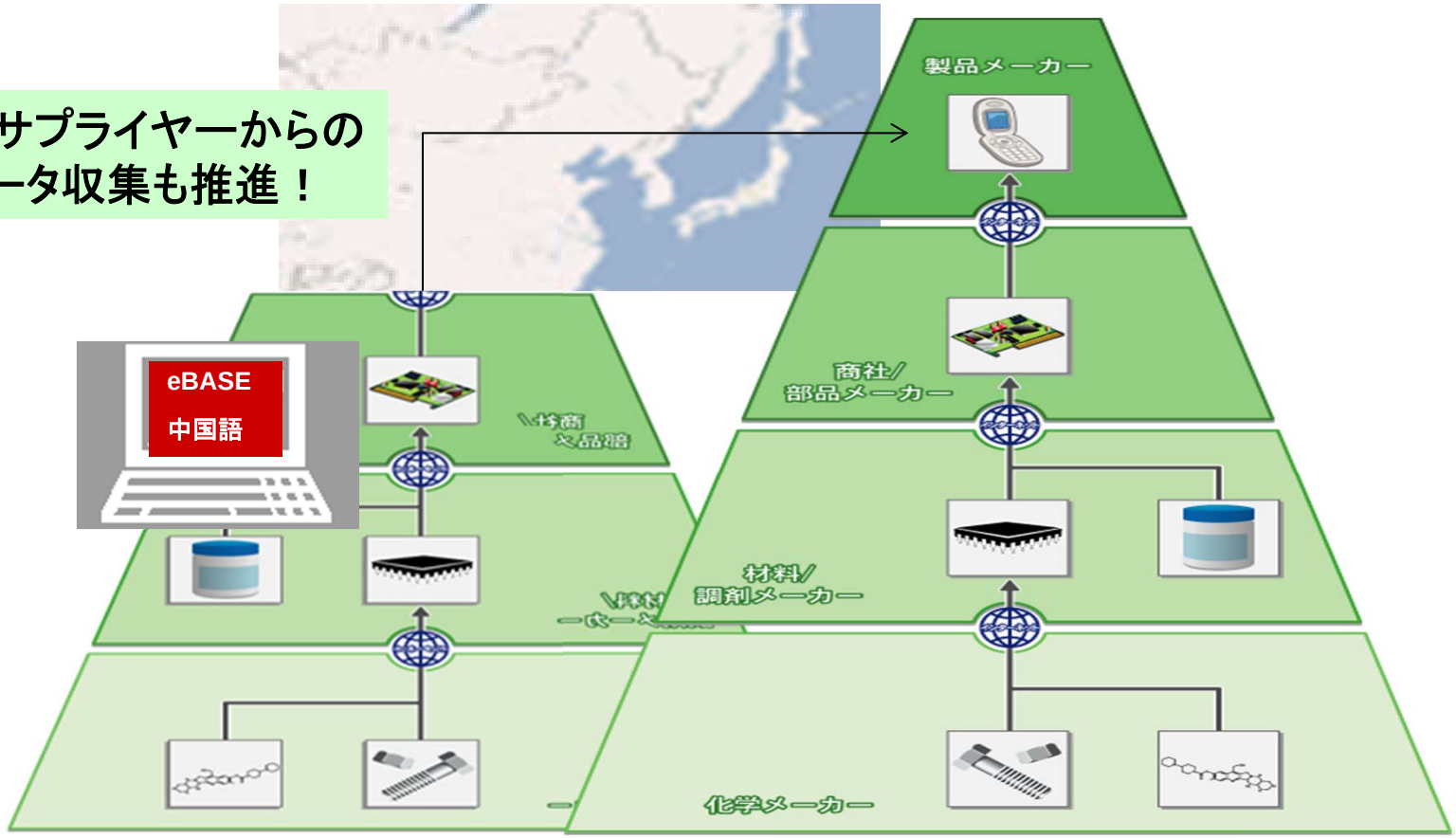
・特化した業界（工具、電材、検査等）へ攻略アプローチを継続攻略



GREEN eBASE /eBASE事業

■ 「OR2ISプロジェクト」対応のGREEN eBASEの拡販を推進

- GREEN eBASEの情報収集機能の必然性を証明し、拡販へ！
- 国内外の無償ユーザー増加を図り、情報収集標準化を推進！



GREEN eBASE

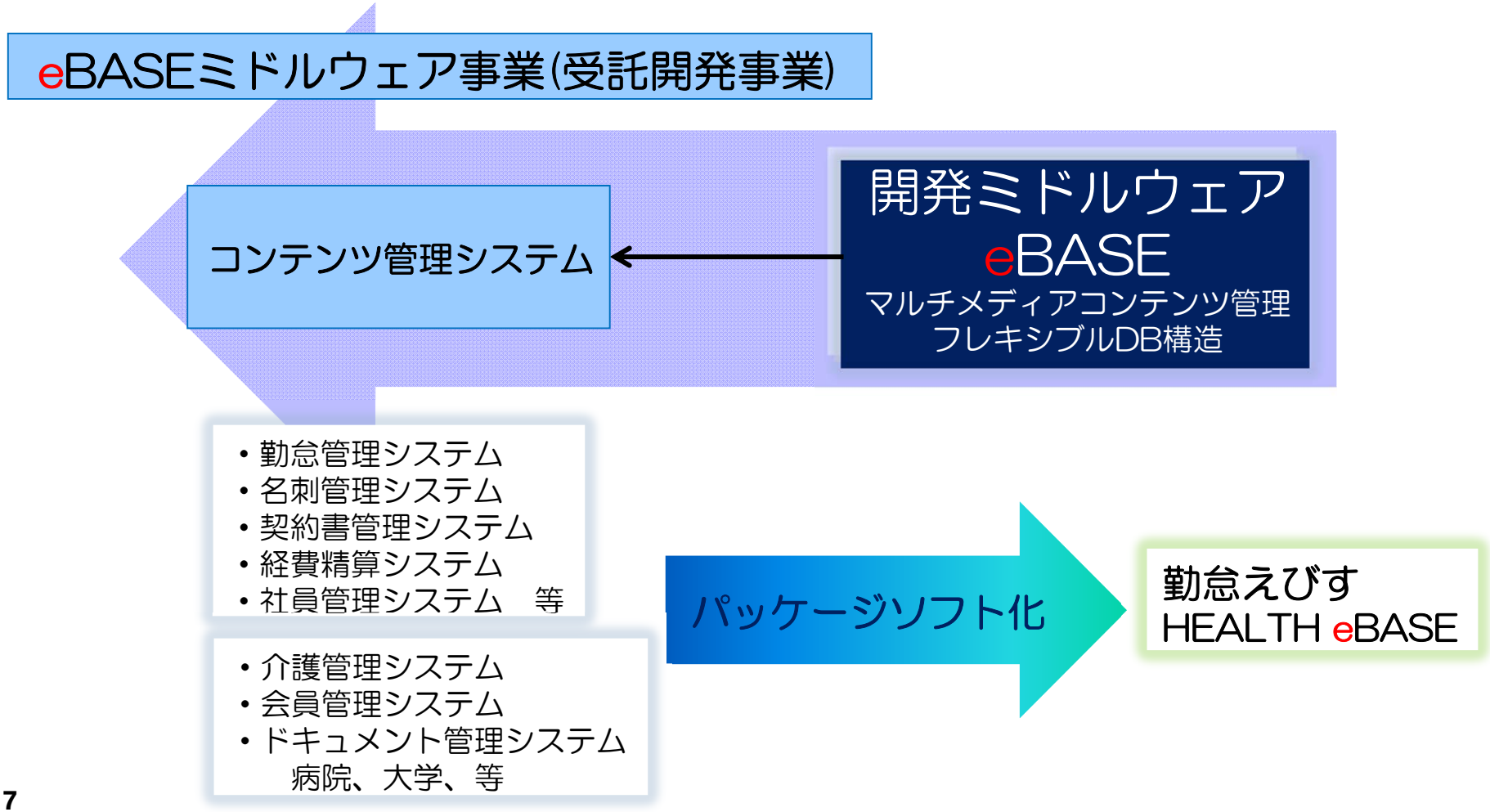
［家電、 情報機器、化学物質、等］

eBASEミドルウェアビジネス /eBASE事業

■ 受託開発案件受注促進

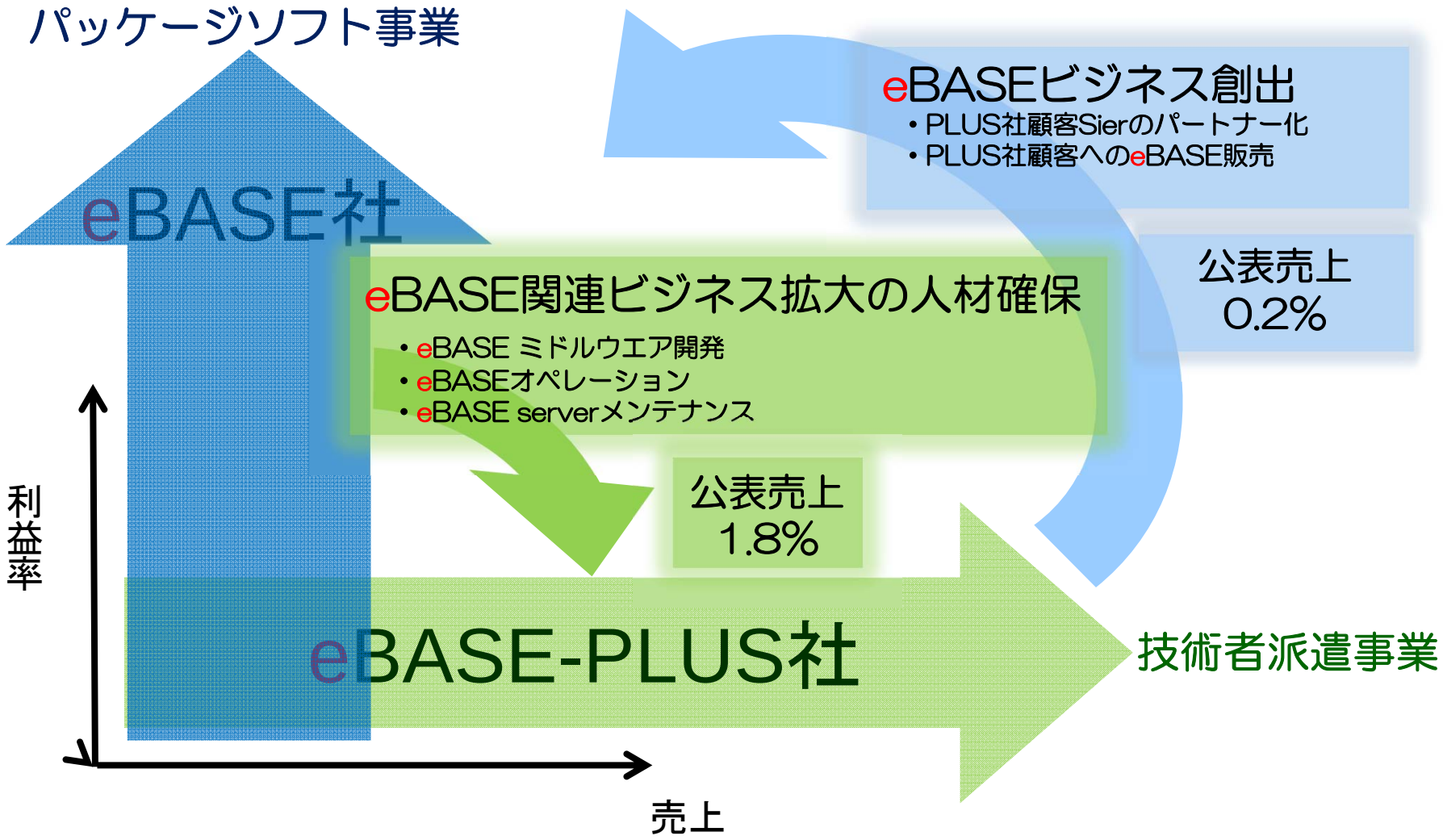
- SIパートナーの開拓
- 基幹系サブシステム受注促進例

■ 開発プラットホームeBASEの機能強化

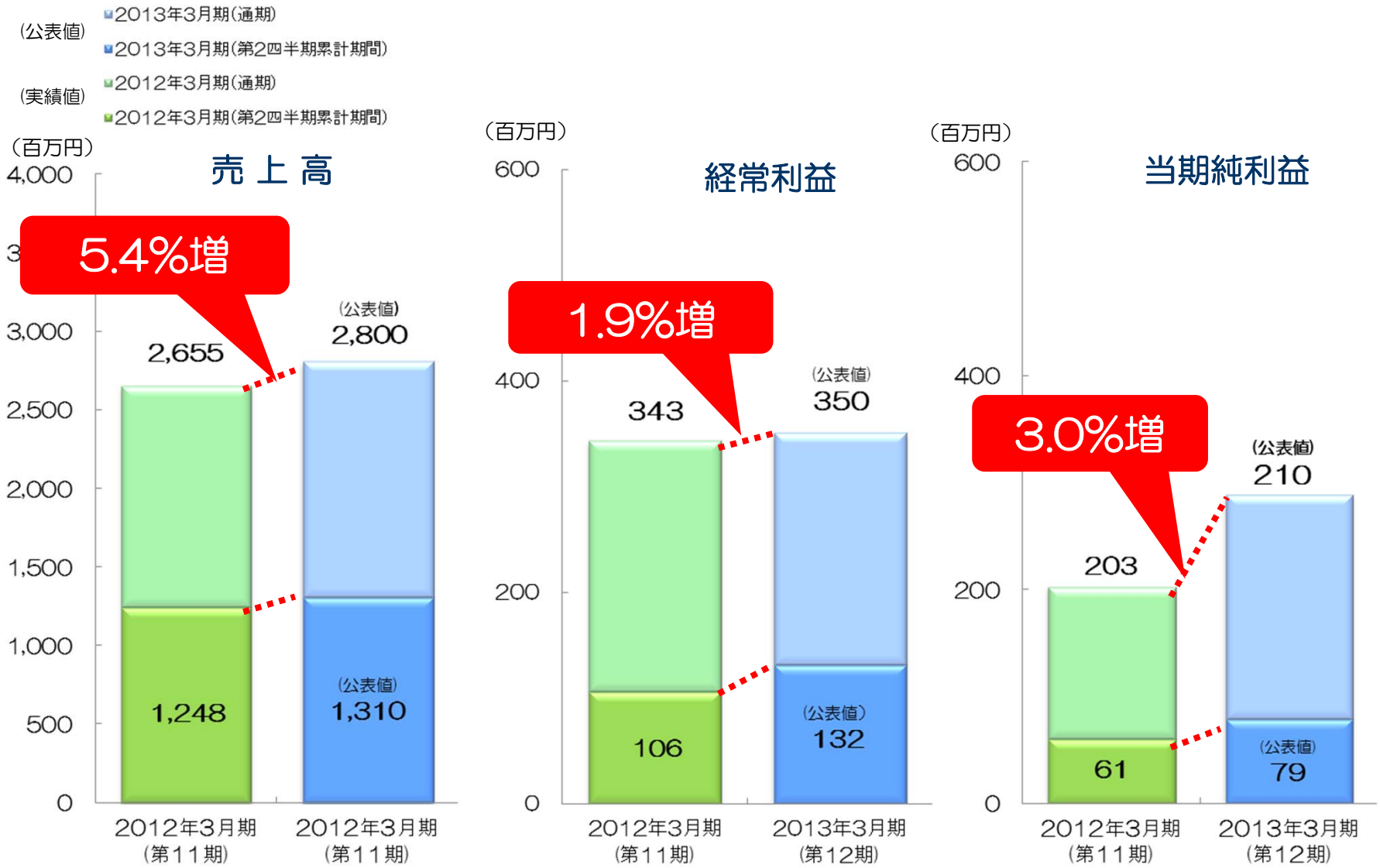


eBASEソリューションビジネス / eBASE-PLUS事業

■ eBASE関連ビジネス拡大の人材確保
■ eBASEビジネス創出のＰＬＵＳ社直受注



2013年3月期の連結業績予想



本資料お取扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ
管理部　　06-6486-3955
management@ebase.co.jp